

## 子どもの成長に必要なもの

校長



柔らかい桜色に変わり、青葉の美しい季節となりました。子どもたちは、新しい環境にもだんだんと慣れ、少しずつ自分を表現できる場面が増えてきた頃です。自分を出せるようになってくると、まわりの友達との

ぶつかり合いも多くなってきます。そんな子どもたちを見ていると、思い通りにならないことに出会ったときに、泣いてしまう、頑なになってしまう、我を押し通そうとしてしまうなどの様子が見られ、兄弟や隣近所に子どもが多かった時代に比べ、折り合いをつける力が少し弱くなってきていると感じます。しかし、実際の日常生活では、自分の思い通りにならないことの方が多いかもかもしれません。そのようなときに、周りを見ながらどのように自分を出していけばよいのか、「折り合いのつけ方」を学ぶことは、大切なスキルだと思います。このスキルを身につけていくためには、様々な体験や人との出会いが必要です。例えば、遊びを通して、譲り合いや我慢する心を育むことができます。また、あきらめずに努力して、今までできなかったことができるようになる経験を通して、粘り強い心や自分への自信、他者への優しさや感謝する心を育てていくことができます。子どもたちの成長には、ぶつかり合いなどの乗り越えるべき壁も時には必要だと思います。

何より大切なことは、私たち大人が子どもの悩んでいる姿を見守りながら、タイミング良く必要なアドバイスをしていくことです。家庭と学校が情報を共有しながら連携し、子どもの成長を見守っていきたいと思います。どうぞよろしく願います。

## 自分の命は自分で守る

本校では、今年度も4回の避難訓練を行い、児童生徒の危機管理意識の向上に努めてまいります。その1つである不審者対策の避難訓練を5月24日(水)に実施します。訓練後に、安全への心構えや命を守るための行動について、大使館及び専門機関の方々から全校児童生徒に話をさせていただくことで、児童生徒の発達段階に応じた危険回避能力を育み、危機意識をさらに高めさせたいと考えています。また、放課後に職員研修を実施し、私たち教職員も専門家の方々から避難訓練の講評及び助言をいただくことで、学校の安全対策の徹底に努めていきます。

## ディズニーランドの掃除

【児童生徒の皆さんへ】

この人が誰だか分かりますか。ミッキーマウスを考え出したウォルト・ディズニーです。彼は、ミッキーマウスのアニメ映画を大ヒットさせたあと、「夢と魔法の国」を作ろうと考えました。そして、今から約64年前の1955年に、アメリカのロサンゼルスに初めてディズニーランドを作りました。できたばかりのディズニーランドは、最初の1年間、掃除をディズニーランドとは関係がない他の会社の人に頼んでやってもらっていました。しかし、ゴミがいろいろな所に落ちていたり、ゴミ箱からもゴミがあふれたりしていました。またトイレも汚いままでした。これでは「夢と魔法の国」にならない…。困ったディズニーは「それなら、掃除は自分の会社でやろう」と考えました。そして、掃除担当の責任者にディズニーのアニメ映画の背景、つまり、「お城や山や川などを描く人」を選びました。



ウォルト・ディズニーはこう言いました。「ディズニーランドの景色がディズニーのアニメ映画と同じだったら、ゲストが映画と同じように楽しめるだろう。だから、このディズニーランドの景色は、映画の背景のようにきれいであってほしい。それができるのは、いつも背景を描いている君たちしかいないんだ。」するとどうでしょう。ディズニーランドはそれまでとは違い、いつもきれいな状態が保たれる、ゴミ1つない「夢と魔法の国」に変わったのです。

「人は汚いところでは平気で汚すけれど、いつもきれいで整理整頓されているところは絶対に汚さない。」ディズニーは、そう言っています。

さて、皆さんの教室はどうでしょうか。ディズニーランドのようにゴミ1つ落ちていないきれいな場所になっていますか。学校はみんなが勉強したりお弁当を食べたり、たくさんのお客様が来る場所です。みんなでする場所(公共の場)だからこそ、これからもみんなが気持ちよく過ごせるように、自分たちの教室や学校を自分から進んできれいにしましょう。

## ★英会話担当教員の異動についてのお知らせ

Owen Withey 先生と Steven Cuthbert 先生が退職され、後任に関根彰子先生と Melissa Hoque 先生が着任しました。また、産休中の Louise Jones 先生の後任に西藤萌子先生が、さらに新しく Michael Salter 先生がそれぞれ着任していますのでお知らせいたします。

## 生徒会活動スタート



4月13日(木)に生徒会オリエンテーションが行われました。これは、1年生が、生徒会活動の意味や内容について理解し、今後

の委員会決めやそれぞれの活動に役立てていくために行われます。中学部2・3年の生徒会役員の生徒は、昨年度末から「1年生が生徒会活動に早く参加できるように」との思いで、生徒会オリエンテーションの企画・運営の準備を進めてきました。

オリエンテーション当日は、生徒会執行部から1年間の中学部の活動内容について詳しい説明がありました。また、各委員会からは、自分たちの委員会が果たしている役割と、それぞれの活動の取組についての説明がありました。1年生は、これらの説明に真剣に耳を傾け、自分が所属して活動したい委員会を考えていました。

1年生には、今回のオリエンテーションで学んだことを活かして、所属した委員会の活動に責任をもって取り組んでほしいと思います。そして、2・3年生と協力して、生徒会活動に新たな1ページを書き足すよう、自分でできることを考え、進んで活動してほしいと思います。

## 第1回避難訓練



4月13日(木)に第1回避難訓練を行いました。家庭科室からの出火を想定し、避難経路を確認しながら校内の避難

場所に避難しました。この4月に進級して新しい学年になり、教室の配置も変わったので、この時期に避難経路や避難場所の確認をすることは大変重要なことです。

訓練の前に、各担任が教室で避難の際に注意することを伝えました。避難の際の合言葉は、おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ちかづかないの「お・は・し・も・ち」です。児

童生徒は、この5つのことに注意をしながら避難することの大切さを学びました。

緊急放送の避難行動開始の合図の後、児童生徒は合言葉を守り、落ち着いて真剣かつ迅速な避難行動ができました。避難完了を確認した後、日本大使館の警備対策官より児童生徒にお話をいただきました。「1番大切なことは、危ないところから安全なところへ逃げるといこと。避難の際は、どこが危ないからどこへ逃げるのかということ意識してほしい。」と伝えてくださいました。本校では、年間4回の避難訓練を計画しています。

「自分の命は自分で守る」という意識を今後も育てていけるように指導していきます。

## 心が温まった1年生を迎える会



4月26日(水)に小学部の「1年生を迎える会」が開かれました。1年生は、色とりどりの花道を、6年生に優しく手を引かれな

がら入場しました。はじめに、2年生から6年生までが、それぞれの学年ごとに1年生を歓迎する出し物を披露しました。2年生は、「1年生と一緒に活動すること」を紹介し、「子犬のマーチ」を元気な歌声と合奏で届けました。3年生は、「学校のよいところ」を紹介し、「おどるポンポコリン」の曲に合わせて元気よくダンスを踊りました。4年生は、1年生を応援する応援団になってエールを送り、「世界が一つになるまで」をリコーダーで演奏しました。5年生は、迫力あるソーラン節を踊りました。最後に組体操で塔をつくり、会場を沸かせました。6年生は、曲に合わせてカップでリズムを取るカップソングを3曲披露し、仲間と力を合わせることの素晴らしさを伝えました。

会の締めくくりに、1年生が元気な声で「1年生になったら」を合唱しました。元気な歌声からは、「これから頑張るぞ。」という気持ちが伝わってきました。各学年の出し物にはそれぞれの工夫が見られ、心温まる素晴らしい1年生を迎える会になりました。